

交通政策審議会 第2回技術分科会 議事要旨

日時 : 平成16年4月30日 13:00~17:30

場所 : 国土交通省 4階特別会議室

出席者 :

委員 圓川分科会長 漆原委員 木方臨時委員 平臨時委員

事務局 金澤技術総括審議官 三谷技術安全課長 加藤技術開発推進官 湯川専門官
家邊係長 神志那技官

議事 :

- (1)海上保安庁海洋情報部の機関評価について
- (2)海上保安庁総務部海上保安試験研究センターの機関評価について
- (3)その他

配布資料 :

- 資料1 : 交通政策審議会技術分科会 (第2回)進行表
- 資料2 : 交通政策審議会技術分科会資料 (海洋情報部)
- 資料3 : 交通政策審議会技術分科会資料 (海上保安試験研究センター)
- 資料4 : 今後のスケジュール
- 参考資料 : 交通政策審議会技術分科会の立ち上げについて

【海洋情報部】

○ 海洋情報部から業務内容について説明の後、討議が行われた。主な指摘事項、意見は以下のとおり。

- 海洋情報部から大学に数名が教授・助教授として移籍されたと聞いている。非常に国際的な視野で、地形調査や海底地殻変動観測、漂流予測等、外洋のプロセスの高度な研究を続けており、大学では、海洋情報部における研究を高く評価し、感謝していると聞いている。
- 研究について、もっと予算配分等を考慮すれば、より良い研究開発ができると考えられる。
- 海上保安業務遂行計画は5年程度を見据え設定されているが、いつでも迅速に対応できるシステムにするという問題意識が大切である。
- 今後、施設の老朽化の問題などに不安がある。



海洋情報部の機関評価の様子

【海上保安試験研究センター】

○ 海上保安試験研究センターから業務内容について説明の後、討議が行われた。主な指摘事項、意見は以下のとおり。

- センターの職員は全員が海上保安官で、非常にいい関係で仕事されているが、将来、研究職の人間が加わることも必要であるとする。
- 本来のセンターの目的は、最先端の科学技術を常に取り入れることであり、またそのための人材採用や研究開発の取り組み方が必要である。
- 起こったことに対する対処のみならず、予防も重要になってきたという問題意識をもって欲しい。



海上保安試験研究センターの機関評価の様子

以上

文責 国土交通省総合政策局技術安全課
速報のため事後修正の可能性あり

【問い合わせ先】

国土交通省総合政策局技術安全課 加藤、湯川

電話：03-5253-8111 (内線 25615)

F A X：03-5253-1560